

化研病院 看護部ニュース 5月号

～化研病院 2016 新人看護師研修 編～



化研病院では、一人ひとりが確実にレベルアップできるよう、さまざまな研修を通して人材育成を行っております。今年度は新しく 22 名の新人看護師が入职し、新人研修を行いました。その様子をレポートします。



2016 年度新入职看護師 22 名

酸素吸入・吸引

シミュレーターを使用して、清潔操作を含む吸引の手技を確認します。酸素投与、ネブライザーについても学習します。



採血法・注射法

先輩 NS の丁寧な指導のもと、新人同士で採血や注射を実際に行います。一番ドキドキする研修です。



感染予防

手袋や医療用エプロンの着脱の仕方を学んだり、手洗いの仕方を再確認したりします。

●集合研修、導入研修

～基礎を確認 自信をつける～

専門職として正確で安全な看護技術の基礎を習得できるようにカリキュラムを構成し、組織の一員として責任ある行動がとれるようにします。

医療安全、感染予防の技術、災害看護、採血・注射法、酸素吸入・吸引、救命救急、処置技術など



膀胱留置カテーテル

シミュレーターを使用し、滅菌操作でカテーテルを挿入する方法を習得します。

医療安全(座学)

イラストをもとに、起こり得るインシデントを予想し合います。グループごとにまとめて、発表もします。



救命救急処置

BLS、AED の実施については、全員で役割分担をし、現実に近い緊張感を持って行います。



先輩の業務を間近で見ながら、実践的な技術を習得することができます。



●ローテーション研修

集合研修の合間を縫って、看護部の各看護単位を1日ずつ経験して回ります。自分がどこで働き、どんな看護師になりたいかを考える大切な期間です。自分で配属先を決める当院のシステム上欠かせないシステムとなっています。

療養病棟・内科病棟・外科病棟、回復期リハビリ病棟、手術室、など

患者様と接する中で、自分なりの看護を見つめなおします。



様々な場所でチーム医療を実感できます。この経験が配属後にも役立ちます。



約3週間の研修後、職場へ配属され、チームメンバーとしての役割を学ぶ、OJTへ移行します。配属後は、先輩看護師の実地指導者が成長を支援します。そしてチーム医療の一員として、病院全体で見守り、支えていきます。



～研修を終えての感想(抜粋)～

- 講義だけではわからなかったことも、研修で学びながら実践でき、理解が深まった。
- 学生だった自分から、看護師としてスタートしたという実感が沸いた。今はできないことも、積極的に学んでいきたい。
- 今までとは違う視点で考えたり感じたりするようになった。興味対象が増えたので、知識を増やしたい。
- 研修では技術が足りなくてできなかったこともあったが、先輩たちに支えられながら学んでいきたい。
- OJTの先輩たちは年齢も近くて相談しやすい。「報・連・相」を大切にし、とにかく頑張っていきたい。
- ローテーション研修は、病棟などの雰囲気や業務の流れを事前につかむことができた。正式に配属され、これからの自分に何が必要なのか、イメージをして準備していこうと思う。